

水口稔之先生ご考案のインスツルメント（M・チャンネルバー/ボーンプロテクター）のご紹介

M・チャンネルバー *for Canal Technic*



目視下におけるラテラルアプローチにおいて、歯槽骨頂から上顎洞底部皮質骨までの垂直的骨量が4 mm以上ある場合において、床形成窩底部を見るために床形成窩に対して斜めに骨を削合し、床形成窩底部を見るためのチャンネルを形成するために使用するダイヤモンドバーです。

[参考文献] 水口稔之：目視によるソケットリフト ダークシェード&チャンネルテクニックを用いて：
インプラントジャーナル No.36：p57-69：2008

販 売 名：M・チャンネルバー
製造販売届出番号：13B1X10081JP0001

一般的名称：歯科用ダイヤモンドバー（一般医療機器）
製造販売業者：株式会社プラトンジャパン

ボーンプロテクター *for Bone Protect Technic*



ボーンスプレッダーによる骨幅拡大の際に若木骨折を防止するために使用するインスツルメントです。ボーンスプレディングの途中で若木骨折を起こしそうになった場合、その部分を圧迫して若木骨折を防止もしくは制限します。

[参考文献] 水口稔之：狭窄骨におけるボーンスプレディングとGBRによる対処法 ボーンプロテクトと意図的若木骨折：
インプラントジャーナル No.43：p83-101：2010

販 売 名：ボーンプロテクター
製造販売届出番号：13B1X10081000031

一般的名称：歯科用インプラント手術器具（一般医療機器）
製造販売業者：株式会社プラトンジャパン